



## 消防団 長年にわたり献血事業に協力

行方市消防団玉造支団第3分団の皆さまには、平成19年から献血事業に毎年協力していただき、今年で15年目になりました。

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、全国的に血液が大変不足しており、このような非常事態であっても、多くの患者さんが血液を必要としています。

今年も5月16日(日)に実施し、50人余りの団員とその家族にご協力していただきました。

病气やケガなどで輸血を必要とする方の尊い命を救うため、引き続き、献血へのご協力をお願いし、団員の皆さまのなお一層のご活躍をご祈念します。



## 架空請求詐欺被害を未然に防止 ローソン行方山田店と店員に 行方警察署から感謝状を贈呈

5月18日(火)、架空請求詐欺被害を未然に防止したとして、ローソン行方山田店と同店パート店員の鬼澤寿枝さん(写真中央)に、阿久津明典行方警察署長(写真左)から感謝状が贈呈されました。鬼澤さんは4月15日(木)、高額の電子マネーを購入するため来店した高齢男性の様子を不審に思い、声を掛けて行方警察署への相談を促しました。

男性は「携帯会社を名乗る人物から、携帯アプリの未納料金があるので、電子マネーを購入して支払うように言われた」と話していたそうです。

不審な電話やメールがあった際には、一人で悩まずに行方警察署に相談してください。



## 固定資産評価審査委員会委員が 選任されています

固定資産評価審査委員会委員が、議会の同意を得て鈴木市長から選任されています。

3月12日をもって退任されました近藤芳子氏の後任に、河野一郎氏が選任されました。

任期は、令和3年5月11日から令和5年11月30日までです。



## 市長トップセールスによる シティプロモーション活動報告

5月14日(金)、神奈川県内で開催された「自治体総合フェア2021」において、「地方創生の新しい展開「シビックプライド」(都市・地域への誇り、愛着)への期待」をテーマとしたカンファレンス(主催:一般社団法人日本経営協会)が開催されました。

このカンファレンスは、地方創生の一視点として、地域の輝きを取り戻す取り組みとキーワードとなる「シビックプライド」の利点や効果などを例示し、聴講者に対してヒントを提供することを目的に開催されたものです。本市は、なめがたエリアテレビのスタジオから鈴木市長がオンラインで登壇し、岩手県北上市長、神奈川県相模原市長らとともに、それぞれの視点からシビックプライドについての議論を深めました。

「情報発信で日本一プロジェクト」を掲げる本市は、シティプロモーション指針に沿ったさまざまな手法により、これからも積極的な情報発信とシティプロモーション活動に取り組んでいきます。

### 【コーディネーター・パネリスト】

#### コーディネーター

関東学院大学法学部地域創生学科准教授  
社会情報大学院大学特任教授 牧瀬稔氏

#### パネリスト

岩手県北上市長 高橋敏彦氏

神奈川県相模原市長 本村賢太郎氏

株式会社読売広告社ひとまちみらい研究センター  
エグゼクティブプロデューサー 北村俊明氏



### 地域貢献活動として消毒用品等を贈呈

#### ペン型消毒スプレーと東関東自動車道工事概要資料

5月17日(月)に、常総開発工業株式会社(R2東関東道両宿地区地盤改良工事請負業者)の石津正美社長が横田教育長を訪ね、市内の小学校児童と教職員に、ペン型消毒スプレーと東関東自動車道の工事概要がわかる資料(QRコードを読み取ると動画で工事の様子を見ることが可能)1700個を寄贈しました。

石津社長は「新型コロナウイルスの影響で、色々な活動や行事が制限されてしまっている子どもたちや学校のために役に立ちたいと思った。学校や家庭で有効に活用してほしい」と話していました。

同社の皆さまには、昨年度も地域貢献活動として、市内の幼稚園や小中学校の消毒作業にもご協力いただいています。

市内の子どもたちや学校のために、ありがとうございました。

### 令和3年度行方市ソフトボール連盟杯 大会結果

令和3年5月9日(日) 北浦第2グラウンド

【優勝】 キングスターズ 【準優勝】 大和乃風  
【第3位】 ザ・一公

### 第14回行方杯中学生ソフトテニス大会結果

令和3年5月15日(土)  
北浦・玉造運動場テニスコート

《男子の部》

【優勝】 一ノ宮・鈴木組(神栖四中)  
【準優勝】 西村・飯塚組(大洋中)  
【第3位】 石橋・篠塚組(波崎一中)  
【第3位】 小見・中村組(大野中)

《女子の部》

【優勝】 奥野・荒木田組(玉造中)  
【準優勝】 関口・金澤組(玉造中)  
【第3位】 重田・和泉組(大洋中)  
【第3位】 千ヶ崎・根崎組(玉造中)



### 令和2年度鹿行地区文化財保護功労者表彰

令和2年度鹿行地区文化財保護功労者表彰状が、羽生和次さん(麻生)に授与されました。鹿行地区文化財保護功労者表彰は、鹿行地域で文化財の保護と活用等に功績のあった個人または団体を顕彰するため、鹿行5市の教育委員会と文化財保護審議会が推薦し、鹿行文化財保護連絡協議会理事会において承認されるものです。

羽生さんは、毎年10数種類の形状のしめ縄を1000本以上、50年以上にわたり製作されています。地元氏子や注文先の方々には、常にしめ縄の意義と形状、歴史と祭神との関係を説明するなどし、地域の鎮守への尊崇の念を高めるのに貢献されています。また興味のある方には、しめ縄の作り方を丁寧に指導され、この技術の後継者育成に努められています。



### 犯罪や非行を防止し、 立ち直りを支える地域のチカラ 第71回社会を明るくする運動

5月24日(月)、なめがた地区保護司会の土子俊雄会長をはじめとする4人が鈴木市長を訪ね、第71回社会を明るくする運動の推進にあたっての内閣総理大臣メッセージを伝達しました。

この運動は、犯罪や非行の防止と犯罪や非行をした人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせて、安全で安心な地域社会を築こうとする全国的な運動で、今年で71回目を迎えます。望まない孤独や社会的孤立などの生きづらさという課題に、我が事として関わるコミュニティの実現を目指しています。

今後も社会を明るくする運動では、ポスター、チラシ等の配布や、非接触型の活動を中心とした啓発運動を行っていきます。